



## 謹賀新年

旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。  
本年も気持ちを新たに取り組んでまいりますので、お気づきのことがございましたら是非お知らせいただければ幸いです。本年もよろしくお願い申し上げます

寒さが一段と厳しくなり、体調を崩しやすい季節となりました  
皆様が御健勝でご多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。

### ご利用者アンケートご報告 第3弾



#### ご利用による心理的变化①

ご利用いただいたことで、多方面から「元気になった」とお言葉をいただいております。  
そのため、どのように「元気」になっていただいたのか、そもそも本当に「元気」になられたのだろうか、今回確認するための質問項目を設けておりました。

お答えに悩まれる質問内容であったこと、改めてお詫びするとともに、丁寧にお答えいただき感謝申し上げます。結果を複数回に分けて、ご報告いたします。

1. 健康への注意



ご利用前に比べて、健康に注意を払うようになられた方は  
**合計24名 (64.8%)**

3. 他者に役立ちたい



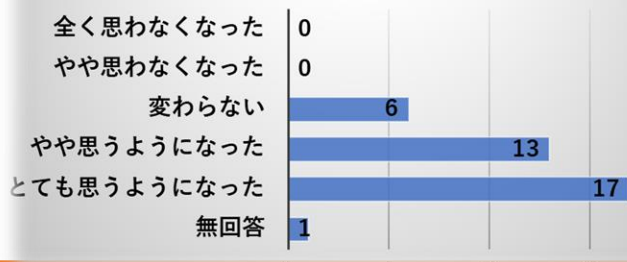
ご利用前に比べて、誰かの役に立ちたいと願うようになった方は  
**合計18名 (48.6%)**

2. 精神的な強さ



ご利用前に比べて、精神的に強くなられた方は  
**合計13名 (35.1%)**

4. 今の生活が大切である



ご利用前に比べて、今の生活が大切であると思うようになられた方は  
**合計30名 (82.1%)**

ご利用前に比べて、それぞれの変化の程度に差がありました。

それぞれ「変わらない」とご回答された方も多かったです。  
通所をご利用になられる方々は、この質問事項に対する意識が高い方々がご利用されているのではとも感じております。

健康への注意を払おうという気持ちと、今の生活が大切だと感じる気持ちは、通所をご利用されたことで変化した方が大勢であったことが確認できました。

### 12月のレクリエーション：サンタがちどりにやってきました！

みなさまがサンタクロースとしてクリスマスツリーの根元に、プレゼントを届けるレクリエーションでした。みなさまの様々な特技を拝見でき、職員も楽しませていただきました。

#### ☆主な評価ポイント☆



#### ①プレゼントと包装素材の組み合わせを考える構成能力

大きさ、形と包装素材と適切に組み合わせることは、ただのデザインセンスだけではありません。視覚的に見えたものを、どう認識して対処するかが問われます。

#### ②安全かつ効率的にプレゼントを運ぶ判断能力とバランス機能

様々な大きさのプレゼントを安全に運ぶ方法を考えながら行っていただきました。  
複数持つ方法、特に大きな箱を運ぶときに転ばずに歩くことができるかどうかを拝見していました。ご自宅で何かを運ぶことの応用的活動として確認しております。



## 12月のレクリエーション：サンタがちどりにやってきた！ 作品集



段ボール箱10個、お菓子の箱・牛乳パックに描かれたお肉や果物他20個、バスタオル・フェイスタオル各5枚、計40個の『プレゼント』をクリスマスツリーの下に飾り付けしていただきました。最優秀作品は、皆様に投票していただいたのちに決定しますので、ご協力をお願いいたします。今回はすべての作品を掲載いたします。



### 今月のお花

椿（つばき）



～椿～

日本原産の花木で、海外では「カメリア」と呼ばれています。先月のサザンカは同じツバキ科の仲間です。

材は硬さを活かして器具や彫刻の材料に、灰は焙煎材に、種子は灯火や化粧用の油に活用しています。

なんとまあ、役割の多いお花なのですね。個人的には美しい花をみて和ませてくれる役割が一番大事で得意なのは、と思います。

### 1月の予定 イベント情報

#### レクリエーション

1月26日（金）～2月1日（木）

『今年はお年玉を、自力で取りに行かなきゃいけないお年だ！（まあ！）』

1月19日（金）～1月25日（木）

診察・リハビリテーション会議

（日程は個別にお知らせします）

1月19日（金）～1月25日（木）

1月のレクリエーションは

『今年はお年玉を、自力で取りに行かなきゃいけないお年だ！（まあ！）』です

1月といえば、お年玉ですね。

みなさまは、どなたかにお年玉をお渡しすることが多いのでしょうか。

今回はみなさまで協力して、たくさんお年玉をご準備いただくレクリエーションです。

体力と気力と腕力で、是非頑張ってくださいと思います。

### 編集後記

通所開設後2回目の年越しを迎えました。月日の流れとともに、嬉しいこと、悲しいこと含め、様々な出来事が流れてるものだと、新しい年を迎えて、改めて実感しています。

今年は言語聴覚士も皆様とご一緒する機会が増えてまいります。次号であたらめて、自己紹介をさせていただきますが、新しい仲間とともに、さらに皆様の様々なご支援を続けてまいりたいと思っております。（K.A）